

広報

# うちなだ 9

1999 UCHINADA TOWN PUBLIC INFORMATION MAGAZINE No.440

発行/内灘町総務部総務課 (毎月5日発行)

〒920-0292 石川県河北郡内灘町字大学1丁目2番地1

TEL(076)286-1111 FAX(076)286-0617



凜<sup>り</sup>  
んと  
して



〔主な内容〕

- 特集：高齢化社会を考える (P 2～3)
- 第22回内灘町民夏まつり (P 4)
- 呉江文化芸術団友好交流訪問 (P 5)







## 世代をこえて

### みんなでつくる高齢社会

1999年は国際高齢者年であることをみなさんをご存知でしたか？国連が定めた年間テーマは「すべての世代のための社会をめざして」です。高齢者をめぐる諸問題は、高齢者だけでなく、すべての世代が協力しあって解決する課題であることを意味しています。

国民の4人に1人が高齢者という本格的な高齢社会を目前にした日本でも、国際高齢者年を契機に、各世代相互の理解と協力が一層求められています。

#### —数字から—

総務庁が発表した数字によると、平成7年の6月には総人口に占める高齢者(65歳以上)の割合は15.5%、1,954万人で子供(15歳未満)の数字より5万人多くなっています。平成6年6月の調査では子供の方が100万人多かったので1年間であつという間に逆転してしまったのです。

平成10年2月には高齢者の数は2,000万人を超え、西暦2015年、今から16年後には国民の4人に1人が高齢者という時代が確実にやってきます。



平均寿命がどんどん更新され、日本は世界一の“長命社会”となりました。でも“長命社会” = “長寿社会”ではありません。わたしたちは長く生きることが喜ばしい、意義ある“長寿”を目指さなければなりません。そのためには高齢者みずからが、健康維持はもちろんのこと、自身の生き方や意識を見直し、積極的に自分の役割を見出ししていくことが大切です。

「老後は余生」、「高齢者は弱者」と決めつけて考えるのはもはや古い考え方。高齢期は、それまでに蓄えた経験と知識を社会に還元していく「黄金の時期」なのです。





# 特集 - 高齢化社会を考える -

## さく裂するオールドパワー

高齢者かくし芸大会(7月24日開催)より



千鳥台3丁目にお住まいの  
芝下禮子さんと竹野美代子さん

歌や踊りの好きな仲間が集まって「芝の会」という会を結成し、新舞踊を練習しています。月に3回、医科大学病院や保養センターを訪れ、ボランティアとして芸事を披露しています。人のために役立っているという意識は、私たちの生きがいにも

なっています。また、好きな芸事を一生懸命練習して、人の前で披露するという事は、長生きの秘訣でもあるんですよ。今日は、この大会のために、2カ月前から練習を積んできた成果を披露し、みなさんに喜んでいただきたいと思います。



出番を終えたばかりの仲良し4人組  
ちょっと失敗したけど楽しかったわ!

左から 井戸川菊井、中山愛子、吉倉菊井、井戸川カズエさん

終始にこやかな東口さん。毎朝林帯遊歩道でお孫さんと一緒に花に水遣りをしていたら、先日「花咲か爺さん」と呼ばれたとのこと。爺さんではなく「花咲か父ちゃん」と呼んでくれたらなあ、と楽しそうに笑っていらっしやいました。

3つめは喰い気。人の口に良いと書いて喰です。自分で野菜を作っていますが、好き嫌いなく何でもよく噛んで食べる。  
この3つのことを常々心がけています。

2つめは笑顔。いやなこと、辛いことがあっても顔はいつもニコニコしている。そうすれば周りの人もいやな思いをしませんし、自分の心も自然とほぐれていく。笑顔を絶やさずにいることが、心の健康の秘訣です。

1つは人のために動くということ。人が動くを書いて働けます。ゆかいに働く、人が喜ぶことをする、人と交わることは自分を生かすことにもつながり、人のために動くことで、知り合いも増え、知識や行動半径も広がります。

### 東口



いつも楽しそうな東口さん。その秘訣は?

### 東口庄二さんにインタビュー

これからは、昭和生まれの高齢者がどんどん増えていきます。自動車の運転はあたりまえ。海外へは何度も行ったことがあり、パソコンもインターネットも使いこなすという、新しいタイプのお年寄りの時代となります。

時代の変化に適応した魅力あるお年寄りが、地域社会で、世界で、活躍する時代が早晚訪れてくるでしょう。柔軟な発想を持った高齢者が増え、今まで高齢者に抱いていた既存概念はくつがえされていきます。お年寄りとは「古い考えを持った人」はもう過去のことです。これからは「経験に基づいて時代を先取りしていく」新しい人になっていくことでしょう。その時「お年寄り」という言葉はもう“死語”になっているのかもしれないね。

### ●60歳以上の人に聞いた「参加している活動」(複数回答)

	総数	参加している								参加したものはない	
		① 趣味	② 健康・スポーツ	③ 生産・就業	④ 教育・文化	⑤ 生活環境改善	⑥ 安全管理	⑦ 福祉・保健	⑧ 地域行事		
1998年	2,303	43.7%	17.1%	18.3%	4.1%	6.4%	6.7%	4.8%	5.0%	12.8%	56.3%
1993年	2,385	42.3%	17.9%	18.9%	3.9%	4.7%	5.6%	3.6%	4.2%	9.9%	57.7%
1988年	2,451	36.4%	11.5%	16.4%	2.1%	2.8%	4.6%	2.7%	2.9%	8.7%	63.6%

- ①趣味 : 俳句、詩吟、陶芸 など
- ②健康・スポーツ : 体操、歩こう会、ゲートボール など
- ③生産・就業 : いきがいのための園芸・飼育、シルバー人材センター など
- ④教育・文化 : 学習会、子供会の育成、郷土芸能の伝承 など
- ⑤生活環境改善 : 環境美化、緑化推進、まちづくり など
- ⑥安全管理 : 交通安全、防犯、防災 など
- ⑦福祉・保健 : 在宅老人の介護・家事援助、施設訪問 など
- ⑧地域行事 : 祭りなどの地域の催しものの世話 など

資料：総務庁「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査結果」



第22回

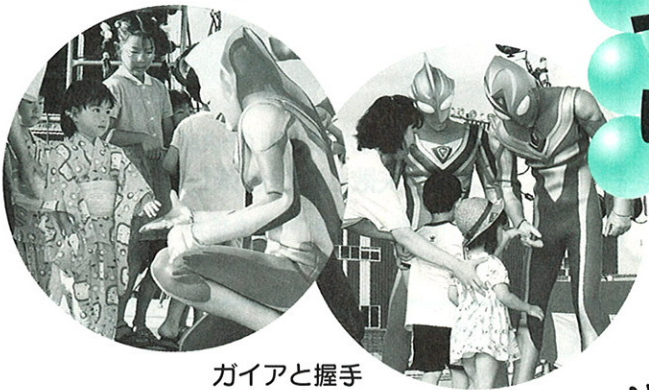
内灘町民夏まつり



異国情緒たっぷり



力強いパチさばきで幕開け 鶴西龍神子ども太鼓



ガイアと握手



はまなす歌謡祭 出演者のみなさん



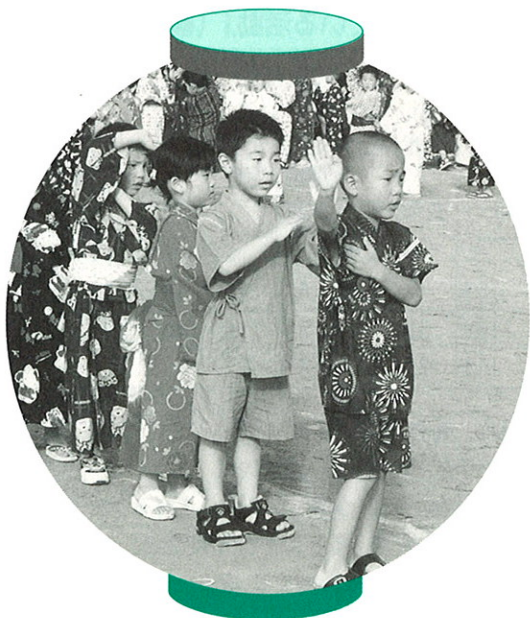
ベストドレッサー賞に輝いた粹な親子



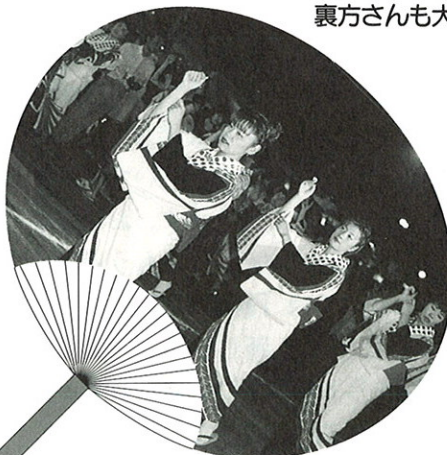
熱演!!



裏方さんも大変です。



踊りの輪も広がって





# ニ イ ハ オ 你 好

## 呉江文化芸術団 友好交流訪問

本町の国際友好都市である中国江蘇省呉江市から、文化芸術団のみなさんが来町しました。一行10人のメンバーは、7月22日（木）に関西国際空港に到着し、翌23日（金）に役場を表敬訪問しました。団長の范建坤氏は呉江市長のメッセージを代読し、「呉江市生え抜きのアマチュア芸術団が内灘町で公演できることをたいへん名誉に思う。この公演が両市町の末永い友情を深める契機になることを願う。」と述べ、更に今年11月には新市長の程惠民氏が内灘町を訪問することを表明しました。

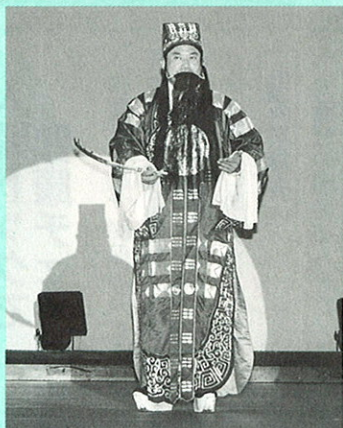


みやげの書を披露する范団長

芸術団のみなさんは、この後24日（土）の町民祭り、25日（日）の文化会館での芸術公演を経て、7月29日（木）に数多くの思い出を抱いて日本を後にしました。再見！

呉江文化芸術団は1970年に発足し、2500年以上の歴史を持つ太湖の影響を受け地方色が豊かで、独特の芸術的な風格がある数多くの舞踊を得意とし、優秀な人材を今日まで輩出してきました。特に舞踊においては、省内の様々なコンクールですばらしい成績を納めており、呉江市自体も江蘇省全国文化先進市に指定されております。

### 観客を魅了した 呉江文化芸術団 演技の数々





# 介護保険制度について

## Q & A

今回は、介護保険の給付や実際の申請手続等に関するご質問にお答えします。

**Q1** 介護保険導入後は一割の負担があると聞きますが、要介護度が高く、負担が重くなった場合どうすればよいのですか。

**A1** 利用者負担につきましては、サービスを利用する人としらない人との負担の公平、サービス利用についての費用意識の喚起などの観点から、在宅サービス、施設サービスとも一割の利用者負担が設けられています。

なお、一割の利用者負担が高額になる場合は、所得階層に応じて負担上限が設定され、別に高額介護サービス費が支給され負担が軽減されます。

**Q2** 七十歳のおじいちゃんが〇〇病院の一般病棟に入院しています。介護保険の給付は受けられますか。

**A2** 一般病棟に入院の場合は医療保険の対象となりますので、介護保険の給付は受けられません。医療機関への入院で介護保険が受けられるのは、介護保険適用の病床として県の指定を受けている場合のみです。

引き続き、一般病棟での入院治療が必要なのか、もっぱら看護・介護等を必要とし、介護保険施設への入所・入院が適するか医師等と十分相談することが必要です。

**Q3** 要介護認定の申請受付が、今年の十月一日から始まると聞いていますが、具体的にどのようなすればよいのですか。

**A3** 介護サービスを受けるには、まず、役場の介護年金課（介護保険担当窓口）に申請をしなければなりません。申請は、本人または家族の方が行うこととなりますが、県指定の居宅介護支援事業者及び介護保険施設においても申請の代行が可能です。

また、申請にあたっては、主治医の意見書が必要となります。

次に、申請の時期については、十月一日から受付を開始しますが、一度にたくさんの方が申請されますと、窓口が大変混雑しますので、地区別等に申請時期を変えて受付を行う予定です。（現在、調整中。）



### 申請受付期間

平成十一年十月一日～十月二十九日

現在、施設などに入所・入院している方が対象となります。

- ・特別養護老人ホーム
- ・老人保健施設
- ・療養型病床群

平成十一年十一月一日～

右記以外の方が対象となります。

※ただし、地区別に申請日を設定させていただきます。詳しくについては、十月号広報でお知らせします。



## 国民健康保険優良被保険者表彰

内灘町国民健康保険優良被保険者表彰式



平成十年度一年間に、医療機関に一度もかかっていない世帯、及び一度も受診していない七十歳以上の人を対象とした表彰式並びに記念品の贈呈が、八月二十六日（木）役場において行われました。

この表彰は、国民健康保険に加入している方の健康保持と保健事業の普及促進を図る目的で毎年行われているものです。

今年も、国保加入者二千八百五十二世帯の中から七十四世帯、七十歳以上の被保険者千二百五十二人の中から三十五人の方が、それぞれ表彰されました。

## 国保加入者のみなさん 人間ドックで 健康チェックを!!

内灘町では、国保加入者の自主健康管理及び生活習慣病に対する早期発見・早期治療を目的として、人間ドック検査費用に助成金を交付しています。

### 助成対象者

内灘町の国保加入者で、満三十歳以上七十歳未満の方

### 検査機関

金沢医科大学病院

### 申込方法

金沢医科大学病院にあらかじめ検査する期日等の内諾を得て、被保険者証と印鑑をご持参のうえ、保険年金課国保係までお越しください。



コース名	費用額	助成額	個人負担額
1日コース	38,850円	34,000円	4,850円
1泊2日コース	71,400円	64,000円	7,400円
2泊3日コース	80,850円	72,000円	8,850円
脳ドックのみの場合	54,600円	49,000円	5,600円
脳ドック [一般ドックと同時 受検の場合の追加分]	33,600円	30,000円	3,600円

※検査機関へは個人負担額をお支払いください。

### 問い合わせ

町民部保険年金課 国保係 ☎286-6702  
金沢医科大学病院 医事課ドック係 ☎286-3511



# 消防 だより

「九月九日は  
救急の日」!



救急医療及び救急業務に対する住民の正しい理解と認識を深めるために、毎年九月九日を「救急の日」とし、九月五日（日）から九月十一日（土）までを救急医療週間と定め、全国一斉に実施されます。

救急車を呼ぶ時は、発生場所、怪我人、急病人がどのような状態か落ちて着いて通報しましょう。

また、消防本部では、突然の事故等に遭遇したときの備えとして普通救命講習（三時間）を実施しています。

ご希望の方（各種団体、個人）はお気軽にご連絡ください。

## 危険物取扱者試験及び保安講習のお知らせ!

◇平成十一年度危険物取扱者試験が次のとおり実施されます。

○試験日

平成十一年十月三十一日（日）

○受付期間

平成十一年九月十三日（月）～九月二十日（月）

○受付場所

（助）石川県消防試験研究センター

◇危険物取扱者保安講習が次のとおり実施されます。

平成十一年十月十二日（火）

～平成十一年十月二十九日（金）までの講習日。

○受付期間

平成十一年八月二十三日（月）～平成十一年九月十日（金）

※問い合わせ

内灘町消防本部

（☎286-3301）

緊急時の通報  
119番

火災等情報案内 286-1999  
消防署一般電話 286-3301

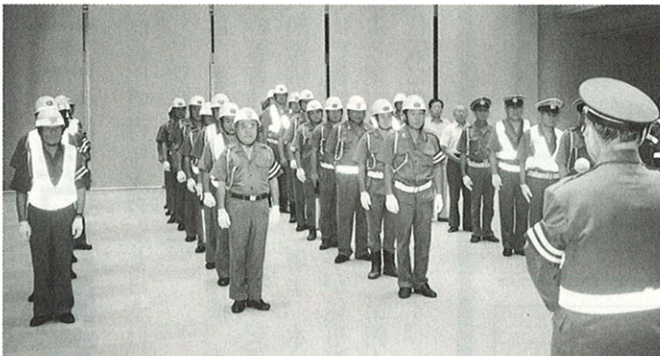
火の用心  
心で用心  
目で用心

## 暴走族根絶運動推進 パトロール実施

八月十二日（木）に暴走族根絶運動推進会議のメンバーを中心に、駐車問題対策協議会、暴走族追放連絡協議会及び防犯と交通安全推進隊によるパトロールが津幡警察署及び内灘交番の協力のもと実施されました。

このパトロールは、町域から「暴走族を出さない」「町内外を走らせない」とする暴走族の根絶を願い、暴走族追放の三不運動「暴走をしない、させない、見に行かない」を目指した活動です。

暴走族の存在及びその行為が町民の平穏な生活を著しく害し、かつ青少年の非行防止のうえからも見過ごすことのできない状況にあります。町民の皆様一人一人がこの根絶運動を推進し、町内から暴走族を追放しましょう。



## 秋の全国交通安全運動 九月二十一日～九月三十日

「気をつけてね」  
愛の一声事故防止  
をスローガンに、秋の全国交通安全運動が展開されます。

悲惨な交通事故を防ぐため、家庭や近所でお互いに「気をつけてね」の一声をかけあいましょう。

また、ドライバーのみなさんは、ゆずりあい、思いやりの気持ちを大切に気配り運転を心がけましょう。



交通事故は年々増加する一方です。

